

緑化だより

No.81 平成25年3月号



ヒュウガミスギ 平成24年3月25日撮影

- 広島県の美味しいなば(11)
- 野鳥の世界(ベニマシコ)
- 緑化センターの木々
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内



ひろしまのきづくりキャラクター
「モーリー」

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

広島県の美味しいなば

(11) アミガサタケ(網笠茸)

4月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げています。

今月はアミガサタケです。

アミガサタケの発生時期は他のきのここと異なり春の3~4月です。そのため一般のきのこ狩のターゲットになりにくく、発生していても見逃されるケースが多いのです。発生地も家の庭とか公園の道路端など身近な場所が多いのです。

きのこは奇妙な形をしています。頭部と柄に分かれていて、頭部は目の粗い網目のようになっており、全体の高さは10cm前後です。切ってみると中は空洞になっていてピーマンのような感じです。

このアミガサタケ、日本ではあまりなじみがありませんが、欧米ではモレルと呼ばれ人気が高いようです。日本のマツタケと同様、欧米ではモレルの発生場所は人には言わないと聞きます。

似た仲間に同時期に発生するシャグマアミガサタケという猛毒のきのこ(欧米では毒抜きをして食べている)があるので注意しましょう。(川上)



アミガサタケ

野鳥の世界

ベニマシコ

ベニマシコは珍しい赤い小鳥です。

赤いといっても朱色に近い色で、日本の野鳥の中では貴重な存在です。

立冬を過ぎ冬至の頃中国地方にも渡ってきます。里山の林に近い河川敷や草原のヤマハギ、ヨモギ、マツヨイグサなど小粒の種子をつける野草の繁みに棲みつき、小さな群れで活動します。

スズメよりスマートで動きはゆるやかで、近くの植物をたどるように移動することで、グループを保っているようです。“ヒー・ポー・ピー・ポ”と細い声で鳴くので鳴き声のするほうを探すと、居場所を見つけることができます。

マシコという呼び名は、正面から見た顔の形が猿のように見えるためで、昔の言葉で猿の呼び名であったマシコ(猿子)から名付けられたようです。正面から見るチャンスは中々ないのですが、冬、枯れたヤマハギの枝やオオイトドリの実をついばんでいる時など見る事が出来ます。赤い顔に白いくま取りをした姿から、すぐにそれと見分ける事が出来ます。



ベニマシコ

緑化センターへも昔は幾度も来ていたのですが、最近は少数の個体が来ても長く居つかず、その姿を見る機会は少ないようです。

この種の仲間にオオマシコ、ハギマシコがおり、いずれも赤色系ですが、少しずつ色合いが違います。サイズは、ベニマシコより少し大きく、活動の様子はよく似ています。

これらも過去、飛来し野鳥ファンを楽しませてくれました。(吉見)

緑化センターの木々

緑化センターの樹木には、自生木と植栽木があります。

特に 75ha の広さを持つ公園部分は色々な樹種が植えられています。

滝口進氏(“広島県の巨樹”著者)の自伝によると、昭和 55 年、開園期に県職員として緑化センターを担当され、「オオモミジ」や「サクラ類」の植栽に、大変なご苦労をされたことが記録されています。

又、入口から園路に沿ったモミジの並木は、宮島で採集したイロハモミジの種子を播いて育てたものとのことで、秋には 300 本以上が紅葉し来園者を迎えます。

30 種類以上あるサクラ類は、10 月下旬頃“十月桜”、“冬桜”に始まり、4 月末頃の“関山”や“御衣黄”まで長い期間、花を楽しめます。

6 月下旬には白い花の「ナツツバキ(シャラノキ)」が管理事務所やレストハウスの横で見られます。

「三波川冬桜」、「カツラ」、「ナンジャモンジャ」、「ハナノキ」、「チュウゴクボダイジュ」、「テングシデ」などは天然記念物ゆかりの樹木です。

珍しいものでは、「ハンカチノキ」や「ツクバネ」があります。

鹿の食害のため殆ど消滅した樹木もありますが、それでも約 500 種類の原種、園芸品種を入れると 1,000 種を超える木々がある自然公園の緑化センターは、学習の場として、又健康づくりの場として利用されています。(正本)



管理事務所前のサクラ“関山”



枝いっぱいにつけた“ハナノキ”の花



“ハンカチノキ”の花

研修会のご案内

- 3月 3日(日) 『早春の探鳥会』
早春の野鳥を観察しよう
9:00～12:00 管理事務所前集合
講師:日鳥連会員 吉見 良一
- 3月 16日(土) 『縄の結び方教室』
様々なロープワークを学ぼう
10:00～12:00 学習室 集合
講師: 西岡 好展
※ 要予約(先着 25名)・無料
- 3月 24日(日) 『接木・取木教室』
接木・取木を学習しよう
10:00～12:00 学習室 集合
講師: 樹木医 溝口 幸平太
※ 要予約・材料費 500円 ・ナイフ持参
- 3月 28日(木) 『ツバキ探勝会』
品種の多いツバキを学ぼう
10:00～12:00 学習室 集合
講師:日本ツバキ協会会員 武村 友和
- 4月 6日(土) 『4月の自然探勝』
春の里山と桜を観察しよう
10:00～12:00 管理事務所前集合
講師:植物研究者 清藤 徹

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会

展示場所:レストハウス
(ボード展示)

緑化センターの木の実写真展

2月 20日(水)～ 3月 24日(日)

(ガラスケース展示)

筆文字ことば創作作品展

3月 6日(水)～ 4月 22日(月)



緑化センターの木の实写真展

◎ イベント

“さくら祭り” 4月 1日(月)～28日(日)

期間中、“さくらクイズラリー”(景品あり)、桜に関する研修会など

“さくら祭りイベント” 4月 14日(日) 10:00～15:00

(会場:レストハウス前)

ネイチャーゲーム、大道芸、紙ヒコーキ大会、ノルディック・ウォーク

花苗販売、フリーマーケット(レストハウス裏庭)

“みどりの集い” 4月 29日(月・祝)

寄植教室、木工教室、ネイチャーゲーム、
紙ヒコーキ大会、ノルディック・ウォークなど
楽しい催しがいっぱい。

詳しくは H.P、電話でご確認下さい。



表紙: ヒュウガミズキ マンサク科サミズキ属
自生地は福井県、京都府、兵庫県北部に分布。
早春の花木として庭木、切花に利用。
よく似た種類にトサミズキがあるが、こちらは花が
やや大きく、葯の色が暗赤色(上写真参照)。